

FORUM

このコーナーでは、本誌の記事内容に関する疑問・質問・突っ込み、あるいは読者の声などにお答えします。

Q 喉頭蓋炎や咽頭炎への NSAIDs 使用が「残念」なのはなぜ？

119 号、58 頁の「コラム 2」について質問があります。

「喉頭蓋炎になり抗生物質だけでなく、ステロイド剤の注射と非ステロイド抗炎症剤（NSAIDs）のジクロフェナク内服が処方された。こういう処方残念なことにおきまりというか、多い。---」という記述ですが、「こういう処方」とは具体的にどのようなものなのでしょうか？そして、その処方のどこが「残念

症・鎮痛・解熱剤は一時的な効果が得られる一方、治癒反応としての炎症・発熱を抑えてしまい、最終的には治癒しにくくなり死亡率も高まるのですが、そのことを認識していない処方が多いことです。特に、感染症が重症になり悪化した場合の解熱は、死亡を増やすことがわかっています。詳しくは本誌 97 号の治療ガイドライン批判シリーズ（21）「敗血症ガイドライン」をお読みください。結論を簡単にまとめると、解熱群と対照群との背景因子に偏りがなく、対照群よりも 1℃以上解熱したランダム化比較試験は 3 件でした。